

2022年6月14日

オリンパス、国内の開発・製造拠点の使用電力を100%再生可能エネルギー化
国内外で再生可能エネルギー70%の調達見込み
2030年までのカーボンニュートラル目標達成に向けて大きく前進

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼 CEO：竹内康雄、以下オリンパス）は、2022年4月に、国内の主要な開発・製造拠点における使用電力を100%再生可能エネルギーに転換しました。これにより、オリンパスグループにおける自社事業所からのCO2排出量は今回の転換以前と比較し年間およそ4万トン削減され、国内外のオリンパスグループ全体の使用電力[※]に対する2023年度（2023年3月まで）の再生可能エネルギー導入率は、前年度の約14%から約70%へと飛躍的に前進する見込みです。

■ 国内外のオリンパスグループにおける再生可能エネルギー導入率の推移

	2020年度	2021年度	2022年度3月期見込み	2023年度3月期見込み
再生可能エネルギー導入率	11.7%	12.7%	約14%	約70%

※一部のサービス拠点、一部の販売拠点、最近買収した法人などを除く。

オリンパスグループでは、事業の持続的成長と持続可能な社会の実現に向けて取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の一つ「社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献」に基づき、2030年までに自社事業所からのCO2排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル目標を設定しています。これまでも欧米各地の一部の開発・製造拠点などにおける再生可能エネルギーの100%調達や、一部の国内製造拠点における太陽光発電設備の設置、物流に関する改善施策の実施、またTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明[※]するなど、CO2排出量の削減に向けてさまざまな取り組みを進めてまいりました。カーボンニュートラルの目標達成に向けて、今後も継続的な製造改善活動の実施や省エネ施策を推進するとともに、自社事業所における使用電力の再生可能エネルギー化を加速させ、脱炭素社会の構築に貢献してまいります。

※ニュースリリース「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同」：

https://www.olympus.co.jp/news/2021/contents/nr02130/nr02130_00001.pdf

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

■ 参考資料：国内における再生可能エネルギー100%導入拠点

会社・事業所名	所在地	
オリンパス株式会社	八王子事業場 技術開発センター 石川	東京都八王子市
	八王子事業場 技術開発センター 宇津木	東京都八王子市
	長野事業場 辰野	長野県上伊那郡辰野町
	長野事業場 伊那	長野県伊那市
オリンパスメディカルシステムズ株式会社	白河事業場	福島県西白河郡西郷村
	八王子事業場 技術開発センター 石川	東京都八王子市
	八王子事業場 技術開発センター 宇津木	東京都八王子市
長野オリンパス株式会社	日の出工場	東京都西多摩郡日の出町
	本社	長野県上伊那郡辰野町
会津オリンパス株式会社	伊那事業所	長野県伊那市
	会津工場	福島県会津若松市
白河オリンパス株式会社	北会津工場	福島県会津若松市
		福島県西白河郡西郷村
青森オリンパス株式会社	青森工場	青森県黒石市
	緑ヶ丘研修センター	青森県黒石市
株式会社エビデント	長野事業場	長野県上伊那郡辰野町
株式会社エビデント長野		長野県上伊那郡辰野町

オリンパスについて

オリンパスは医療分野、ライフサイエンス分野、産業分野で、お客様のご要望に沿った様々なソリューションを提供しています。東京をはじめとし、全世界約 40 の国と地域、30,000 人以上の従業員が活躍する企業です。病気の予防・診断と治療に貢献する、生命科学の研究に寄与する、そして、人々の安全を守る。100 年を越え、オリンパスはこれからも、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために、歩みを進めてまいります。またオリンパスの公式 Twitter もよろしければ、フォローください。

